

学校再開の延期と休校期間中の家庭学習について

日頃は、町内小中学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力ありがとうございます。当たり前の日常であった子どもたちの元気な姿を学校で見かけることができなくなり、すでに2ヶ月が経とうとしております。休校延長が何度も繰り返され、ご家庭の皆様には、大きな不安を感じさせ、大変ご迷惑をおかけしております。県の「緊急事態宣言」が発令中ですが、まだ状況の収束の見通しが立たないことから、臨時休校措置を5月31日まで延期いたします。扶桑町教育委員会は、ご家庭の協力を得ながら、以下の方針で扶桑町の子どもたちの学習を推進してまいります。休校中は、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

家庭学習の方針（5月11日～学校再開まで）について

マイ時間割を立てて、計画的に取り組むことを大切にします。

＜小学校高学年・中学生対象＞

現在、学校からは、昨年度の未実施の単元、新しい学年の予習的な課題等が出されています。今後は、休校の長期化に伴い、子どもたち自身が「見通しをもって粘り強く取り組む力」を意識しながら課題に取り組めるように「マイ時間割」を作成させていきます。こんな時こそ、学びに向かう姿勢を育てるチャンスととらえ、実践していきます。「マイ時間割シート」と「課題プリント」は、学校にて2週間毎に、配付します。5月11日（月）12日（火）の配付に向けてただいま準備中です。具体的な方法は、各学校のHPをご覧ください。

知識・技能の習得以外にも「自分の考えをもち、表現する力」を育成する課題を工夫していきます。

新しい指導要領では、これからの時代に必要な力として、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることを重視しています（学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進より抜粋）。

休校が長期化される中で、教師たちは、子どもたちとの楽しい授業の中で、主体的・対話的で深い学びを実践できず、やりきれない日々を過ごしています。そこで、対話的な学びの出発点となる「自分の考えをもち」ことを大切に、学年の発達段階に応じた課題を工夫して出していきます。学校が再開され、教師や友達とともに

授業で対話するとき、この休校中に、学んだこと、考えたこと、調べたこと、まとめたことなどが必ず役立ち、思考力が鍛えられると考えます。

年間の教育課程全体を見直し、家庭でできる学習内容を工夫し、学校再開後の学習進度の調整を図ります。

現在までの休校で授業日がかかなり減少しております。現在、夏季休業などの長期休業日の短縮、行事等の精選又は中止、日課の工夫等による授業時数の確保を検討しております。学習内容を入れ替えたり、凝縮したりして、家庭でできる内容を予習中心に取り組んでおき、学習進度の調整を進めてまいります。休校中のレポートや記録等の制作物を、再開後の授業で活用していく予定です。

家庭での生活が長くなりますが、どうぞよろしくご協力をお願いいたします。子どもたちの笑顔が一日でも早く学校へ戻ってきますことを、心より願っております。

お知らせ

学校再開予定の6月1日（月）2日（火）の給食は実施せず、下記のように対応させていただきます。3日目から給食を実施します。

なお、今後再開が延期した場合も、再開1日目と2日目の対応は同様にさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

学年 月 日	中学生	小学校1年生	小学校2～6年生
6月1日（月） 再開1日目	弁当 平常授業	午前中で一斉下校	
6月2日（火） 再開2日目	弁当 平常授業	午前中で下校	弁当 平常授業

<詳細は、各学校HPでお知らせします。問い合わせは、各学校へお願いいたします>